

## 「胸部単純X線画像における重心を用いた位置方向検出の研究」のお知らせとお願い

現在、単純X線検査の分野は撮影装置および画像処理技術の発展によって非常に高速にかつ高度な処理を行うことが可能になりました。それにともない、撮影後の画像の確認作業は迅速かつ正確であることが要求されるようになりました。現状では撮影担当技師の目視によって画像の確認を行っておりますが、一人の技師での膨大な画像の確認作業は限界に達しつつあります。今後ますます装置の高速化を想定し、その対策として我々は、画像診断支援システム（CAD）にも応用されている画像工学の技術を用いて、画像確認支援システムの構築を検討しています。本研究ではこれまでのポータブル胸部撮影を行った患者さんの画像をもとに画像の重心を算出し、その重心と胸部画像の位置や方向の関係を解析することによって、胸部画像の位置および方向をコンピュータに認識させ照合します。そして、技師の目視だけでなくコンピュータの支援によってさらに正確で効率的な画像の確認を行うことを目的としています。

本研究は今後、研究のために患者さんから検体を採取したり投棄をしたりすることはなく、これまでの入院治療でのポータブル胸部画像のみを用いる後方視的研究です。

患者さんの画像は ID 等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理され、その他通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。平成 21 年 1 月 1 日から平成 22 年 5 月 31 日までに、防衛医科大学校病院でポータブル胸部撮影を経験した方で、ご自身の胸部画像を研究に使わないで欲しい、というご希望が有れば、研究リストの連絡先までご連絡をいただきますようお願いします。

なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、防衛医科大学校病院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。

防衛医科大学校病院 放射線部  
野瀬 英雄  
Tel : (04) 2995-1511 (内線 3271)